



<定点把握感染症>

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1~49週
	第48週	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(45)			(10)			(10)			(4)			(9)			(12)			
インフルエンザ	30 0.01																			67
小児科定点 (定点医療機関数)		(29)			(6)			(7)			(3)			(6)			(7)			
RSウイルス感染症	785 0.25																			3044
咽頭結膜熱	712 0.23	21 0.72	18 0.62	▼	3 0.50	3 0.50		3 0.43	△				16 ◎2.67	9 ◎1.50	▼	2 0.29	3 0.43	△	567	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1907 0.61	39 1.34	67 2.31	▲		3 0.50	△	32 4.57	57 ◎8.14	▲			7 1.17	7 1.17					1453	
感染性胃腸炎	16530 5.24	103 3.55	133 4.59	▲	55 9.17	40 6.67	▼	5 0.71	38 5.43	△	1 0.33	2 0.67	△	31 5.17	42 7.00	△	11 1.57	11 1.57	3210	
水痘	512 0.16	4 0.14	4 0.14			1 0.17	△	3 0.43	1 0.14	▼				1 0.17	△	1 0.14	1 0.14	136		
手足口病	3860 1.22	4 0.14	5 0.17	△				4 0.57	1 0.14	▼				2 0.33	△		2 0.29	△	89	
伝染性紅斑	45 0.01																		16	
突発性発しん	988 0.31	14 0.48	9 0.31	▼	1 0.17	2 0.33	△	1 0.14	1 0.14		2 0.67		▼	7 1.17	3 0.50	▼	3 0.43	3 0.43	687	
ヘルパンギーナ	1173 0.37	10 0.34	12 0.41	▲	1 0.17		▼	7 1.00	8 1.14	▲				1 0.17	4 0.67	△	1 0.14	▼	426	
流行性耳下腺炎	92 0.03		1 0.03	△							1 0.33	△							55	
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	1 0.00																		0	
流行性角結膜炎	145 0.21	1 0.13	1 0.13								1 1.00	1 1.00							64	
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2 0.00																		1	
クラミジア肺炎	1 0.00																		0	
マイコプラズマ肺炎	10 0.02																		5	
細菌性髄膜炎	5 0.01																		2	
無菌性髄膜炎	9 0.02																		0	

◎:警報レベル ○:注意報レベル

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	1					※第46週追加報告分。
侵襲性肺炎球菌感染症	1					ワクチン接種歴:無し。

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となりました。
山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。(QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症															0
咽頭結膜熱		2	12	2			1	1							18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			11	8	10	9	8	4	1	4	3	8		1	67
感染性胃腸炎		7	23	27	13	9	11	10	6	5	5	13	2	2	133
水痘					1	1					1	1			4
手足口病			4			1									5
伝染性紅斑															0
突発性発しん		2	5	1	1										9
ヘルパンギーナ		1	1	6	4										12
流行性耳下腺炎												1			1

< 令和3年10月 月報 >

※メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の報告数が修正されました。(1～9月分)

2021年11月17日 発行

疾患名	山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)
	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	16	14	7	6	3		2	4	1	4	3	152
	定点当り	1.60	1.40	2.33	2.00	3.00		2.00	4.00	0.50	1.33	1.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	8	15	1	5		1	4	4	1	3	2	93
	定点当り	0.80	1.50	0.33	1.67		1.00	4.00	4.00	0.50	1.50	0.67	
尖圭コンジローマ	報告数	2	3	1					3			1	19
	定点当り	0.20	0.30	0.33					3.00			0.33	
淋菌感染症	報告数	8	6	2	2			2	1	1	5	1	36
	定点当り	0.80	0.60	0.67	0.67			2.00	0.50	0.50	1.67	0.33	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	2	5		2			1	1		1	1	38
	定点当り	0.20	0.50		1.00			1.00	1.00		0.50	0.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	14	10	1	2	2	3			5		6	124
	定点当り	1.40	1.00	0.50	1.00	1.00	1.50			2.50		2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数		1									1	1
	定点当り		0.10									0.33	

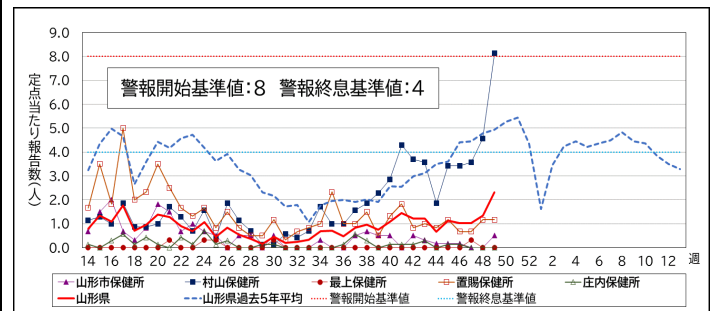
<トピックス>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌に感染することによる上気道の感染症で、第49週は村山保健所管内の定点当たり報告数が警報レベルとなっています。

・第49週 定点当たり報告数 (山形県:2.31人)
山形市保健所:0.50人、村山保健所:8.14人、最上保健所:0.00人、置賜保健所:1.17人、庄内保健所0.00人

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎報告数の推移(山形県)】



《症状》

2～5日の潜伏期の後、突然の発熱(38℃以上)と、喉の赤みで発症します。喉の腫れ、上あごの点状出血や、舌に赤いブツブツが現れる莓舌(写真1)などの症状がみられることもあります。通常、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。

主に小児の感染症として知られていますが、大人もかかりますので、注意が必要です。検査は、綿棒で喉の奥を拭き採取した検体での迅速検査が行われています。治療は、抗菌薬(抗生物質)が有効です。



写真1. 典型的な莓舌

《感染経路と予防法》

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、患者の咳やくしゃみ等のしぶきに触れることにより感染するため、予防には、手洗いやマスクの着用、密集した場所を避けるなど、基本的な予防対策が大切です。

